

要介護認定一次判定ソフト改訂の進捗状況について

1 これまでの経緯

要介護認定では、コンピューターによる一次判定結果を基に、保健・医療・福祉の専門家5名程度からなる合議体により二次判定（最終判定）が行われているところであるが、痴呆性高齢者（運動機能の低下していないケース）の一次判定要介護度が低く出るなどの指摘があった。

このため、平成12年8月に「要介護認定調査検討会」（委員長：開原成允（財）医療情報システム開発センター理事長）を設置するとともに、平成13年に施設及び在宅での介護実態調査や、全国の要介護認定状況に関する調査を実施し、一次判定のコンピューターソフトの改善を行った。

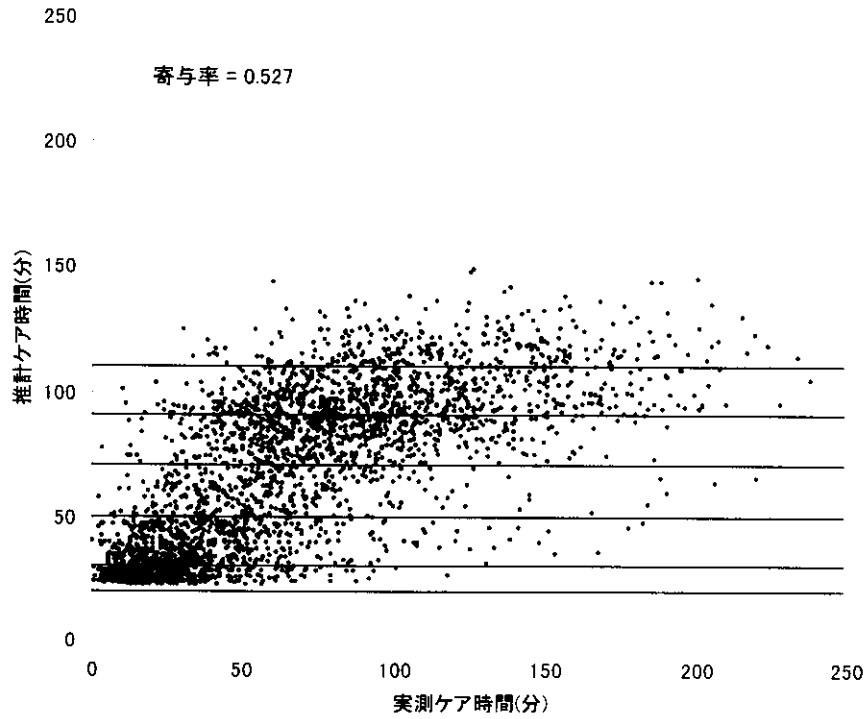
2 主な内容

- ①コンピューターによる一次判定の推計精度が向上（別添1）
（認定調査と審査の効率化）
- ②痴呆性高齢者（運動性機能の低下していないケース）についてより適正に審査判定が可能（別添3）
（二次判定の資料に目印を付し注意を促す）
- ③在宅調査においても、妥当に要介護度を区分することを確認（別添4）

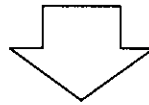
3 今後の予定

- 要介護認定モデル事業（新たなコンピューターソフトに基づく要介護認定を試行的に実施し、審査判定等の現場で円滑に機能するかについて検証）
 - ・本年6月：一次モデル事業（約30市町村）
 - ・秋以降：二次モデル事業（全市町村）
- 平成15年4月：新たなコンピューターソフトに基づく要介護認定を導入

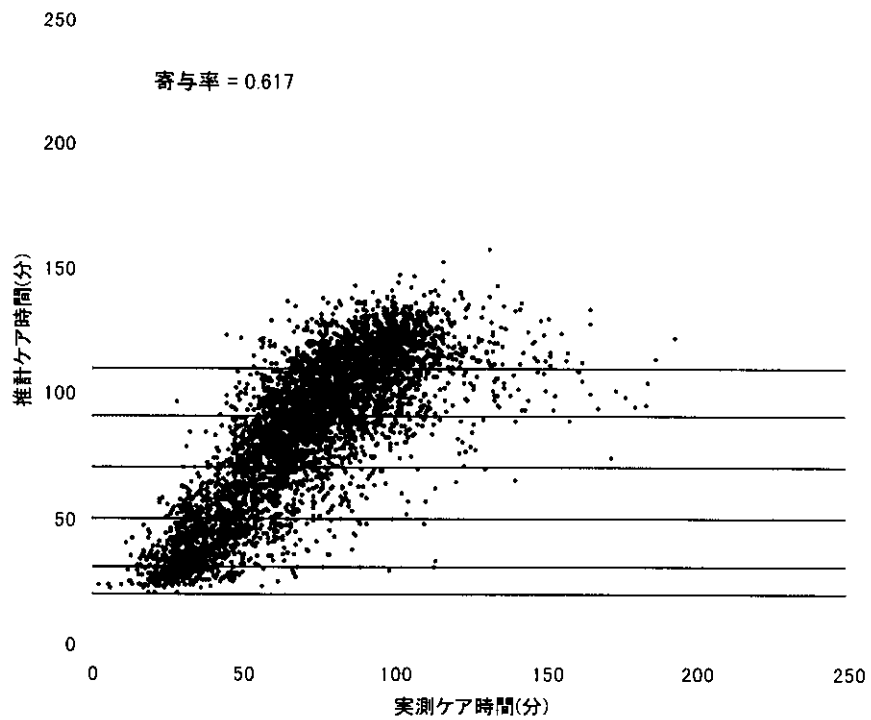
実測ケア時間と推計ケア時間の分布



* 平成 7 年に実施された「サービス供給指標調査」(n=2, 896) における実測ケア時間と、同調査の結果を基に作成されたソフトによる推計ケア時間の分布



実測ケア時間と推計ケア時間の分布



* 平成 13 年に実施された「高齢者介護実態調査 (施設)」(n=4, 478) における実測ケア時間と、同調査の結果を基に作成されたソフトによる推計ケア時間の分布

調査項目の変更

	現行一次判定	→	改訂一次判定
第1群 麻痺拘縮	麻痺 拘縮(肩関節) 拘縮(肘関節) 拘縮(股関節) 拘縮(膝関節) 拘縮(足関節)		麻痺 拘縮(肩関節) 拘縮(肘関節) 拘縮(股関節) 拘縮(膝関節) 拘縮(足関節)
第2群 移動	寝返り 起き上がり 両足での座位 両足つかない座位 両足での立位 歩行 移乗 x	→	寝返り 起き上がり 両足での座位 両足での立位 歩行 移乗 移動 x
第3群 複雑動作	立ち上がり 片足での立位 浴槽の出入り 洗身	→	立ち上がり 片足での立位 洗身 x
第4群 特別介護	じょくそう 皮膚疾患 片手胸元持ち上げ 嚔下 x x 尿意 便意 排便後の後始末 排便後の後始末 食事摂取 x	→	じょくそう 皮膚疾患 嚔下 排尿 排便 x x x 食事摂取 飲水摂取 x
第5群 身の回り	口腔清潔 洗顔 整髪 つめ切り ボタンかけはずし 上衣の着脱 ズボン等の着脱 靴下の着脱 居室の掃除 薬の内服 金銭の管理 ひどい物忘れ x x 周囲への無関心	→	口腔清潔 洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 x x 薬の内服 金銭の管理 x 電話の利用 日常の意思決定 x
第6群 意思疎通	視力 聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日をいう 短期記憶 自分の名前をいう 今の季節を理解 場所の理解		視力 聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日をいう 短期記憶 自分の名前をいう 今の季節を理解 場所の理解
第7群 問題行動	被害的 作話 幻視幻聴 感情が不安定 昼夜逆転 暴言暴行 同じ話をする 大声をだす 介護に抵抗 常時の徘徊 落ち着きなし 外出して戻れない 一人で出たがる 収集癖 火の不始末 物や衣類を壊す 不潔行為 異食行動 性的迷惑行為 x	→	被害的 作話 幻視幻聴 感情が不安定 昼夜逆転 暴言暴行 同じ話をする 大声をだす 介護に抵抗 常時の徘徊 落ち着きなし 外出して戻れない 一人で出たがる 収集癖 火の不始末 物や衣類を壊す 不潔行為 異食行動 x ひどい物忘れ

削除
追加
移動

「運動能力の低下していない痴呆性高齢者」の目印

介護認定審査会資料(例)

No.

被保険者区分：第1号被保険者 年齢：65歳 性別：女性 現在の状況：居宅
 申請区分：新規申請 前回要介護度： 前回認定有効期間： 警告コード：

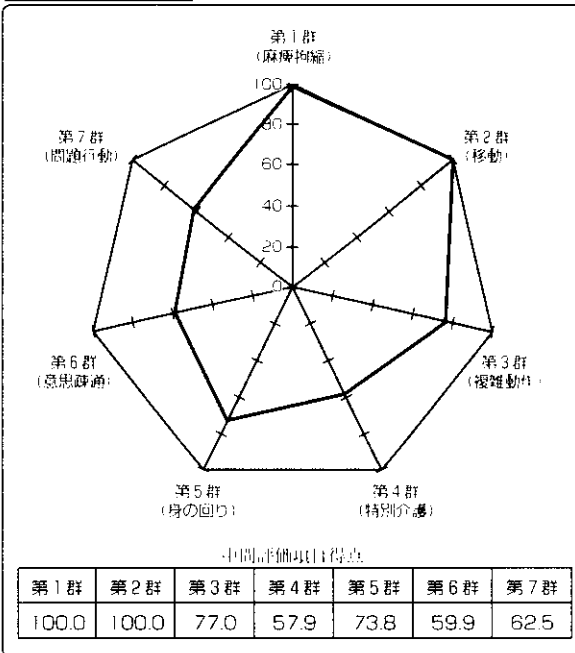
1 一次判定(この分数は、実際のケア時間を示すものではない)

次判定結果	要介護2						
要介護認定等基準時間	52.4分						
<input checked="" type="checkbox"/>							
食事	排泄	移動	清潔保持	関節ケア	問題行動	機能訓練	医療関連
07分	24分	10分	9.2分	7.3分	20.3分	4.0分	7.5分

2 認定調査項目

調査結果	備考	前回結果
第1群 (麻痺拘縮)	1 麻痺 (右-上肢) (右-下肢) (左-下肢) (右-下肢) (その他) 2 痲痺 (肩関節) (肘関節) (股関節) (膝関節) (足関節) (その他)	
第2群 (移動)	1 寝振り 2 起き上がり 3 両足での座位 4 両足での立位 5 歩行 6 移乗 7 移動	
第3群 (複雑動作)	1 立ち上がり 2 片足での立位 3 洗身	全介助
第4群 (特別介護)	1 じよくそう 2 皮膚疾患 3 嚥下 4 食事摂取 5 飲水摂取 6 排便 7 排便	見守りが必要 見守りが必要 見守りが必要 見守りが必要
第5群 (身の回り)	1 ア 口腔清潔 イ 洗顔 ウ 整髪 エ つめ切り 2 ア 上衣の着脱 イ スポン等の着脱 3 薬の内服 4 金銭の管理 5 電話の利用 6 日常の意思決定	一部介助 見守りが必要 一部介助 全介助
第6群 (意思疎通)	1 視力 2 聴力 3 意思の伝達 4 指示への反応 5 ア 毎日の日課を理解 イ 生年月日をいう ウ 短期記憶 エ 自分の名前をいう オ 今季節を理解 カ 場所の理解	ときときできる ときとき通じる できない ● できない ● できない ● できない ●
第7群 (問題行動)	ア 被害的 イ 作話 ウ 幻視幻聴 エ 感情が不安定 オ 昼夜逆転 カ 暴言暴行 キ 同じ話をする ク 大声をだす ケ 介護に抵抗 コ 常時の徘徊 サ 落ちつきなし シ 外出して戻れない ス 入て出たがる セ 収集癖 ソ 火の本始末 タ 物や衣類を壊す チ 不潔行為 ツ 異食行動 テ ひどい物忘れ	ときときある ある ある ある ときときある ときときある ある ある ある ある

3 中間評価項目得点表



4 日常生活自立度の組み合わせ

	痴呆性老人自立度					自立	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	自立	I	II	III	IV							
障害老人自立度						0%	0%	30%	50%	20%	0%	0%

5 サービス利用状況

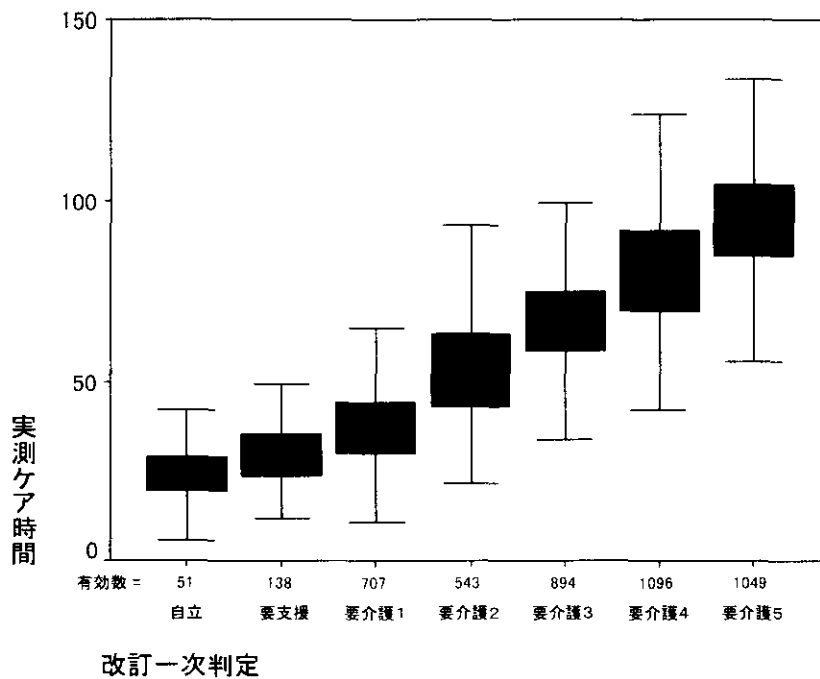
訪問介護(ホームヘルプサービス)	0回/月
訪問入浴介護	0回/月
訪問看護	0回/月
訪問リハビリテーション	0回/月
居宅療養管理指導	0回/月
通所介護(デイサービス)	0回/月
通所リハビリテーション(デイケア)	0回/月
福祉用具貸与	0品目
短期入所生活介護	0日/月
短期入所療養介護	0日/月
痴呆対応型共同生活介護	0日/月
特定施設入所者生活介護	0日/月
福祉用具購入	0品目/6月間
住宅改修	0件

〈特別な医療〉

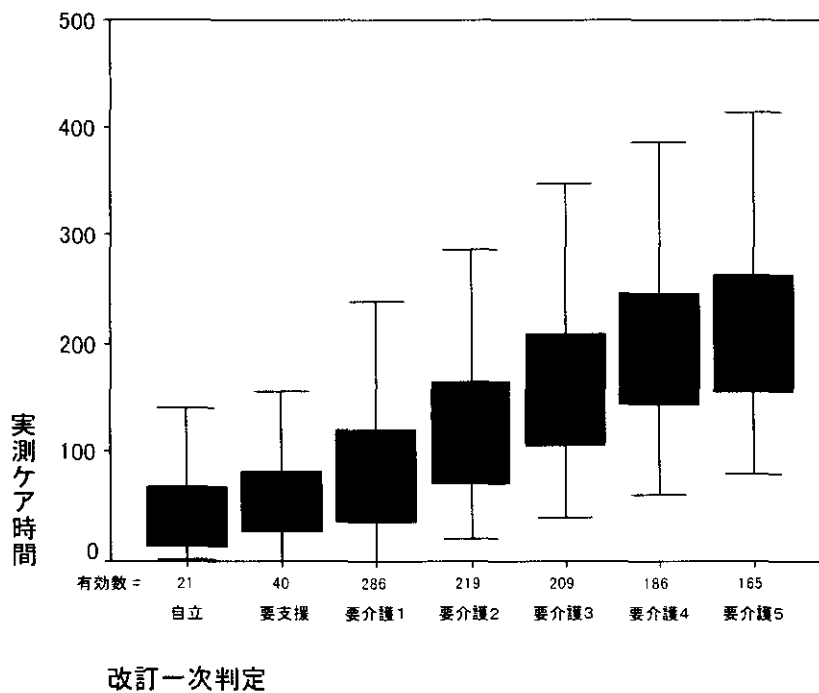
点滴の管理	気管切開の処置
中心静脈栄養	疼痛の看護
透析	経管栄養
ストーマの処置	モニター測定
酸素療法	じよくそうの処置
レスピレータ	カテーテル

改訂一次判定と実測ケア時間の分布

施設調査 (n=4, 478)



在宅調査 (n=1, 126)



障害老人自立度・痴呆性老人自立度類型別審査判定結果の分布
 (平成12年度に申請があったもので平成13年11月末までに認定支援センターへ報告されたものを集計)

全体

		審査判定結果								合計	参考 (件数)
		非該当	要支援	要介護							
				1	2	3	4	5			
一 次 判 定	非該当	57.2	40.0	2.7	0.1				100.0	98,540	
	要支援	0.9	67.1	30.4	1.4	0.1			100.0	582,772	
	要 介 護	1		7.5	69.9	20.5	2.0	0.1		100.0	1,312,721
		2		0.4	8.4	71.6	18.2	1.2	0.1	100.0	671,393
		3			0.2	6.8	68.1	22.1	2.8	100.0	571,669
		4				0.3	7.5	73.9	18.3	100.0	555,510
		5				0.1	1.4	11.3	87.3	100.0	494,726
総計									4,287,331		

※数値は横計の% (参考を除く。)

障害老人の日常生活自立度 (自立、J、A) かつ痴呆性老人の日常生活自立度 (Ⅲ、Ⅳ、M) の者

		審査判定結果								合計	参考 (件数)
		非該当	要支援	要介護							
				1	2	3	4	5			
一 次 判 定	非該当	12.5	61.9	20.9	3.4	0.9	0.3		100.0	320	
	要支援		15.8	66.7	14.3	2.9	0.2		100.0	14,580	
	要 介 護	1		0.1	31.3	55.3	12.7	0.6		100.0	124,050
		2			0.3	49.5	45.4	4.3	0.4	100.0	116,603
		3				2.1	73.0	22.5	2.4	100.0	92,262
		4				0.2	10.0	78.2	11.6	100.0	35,604
		5				0.1	4.1	27.0	68.8	100.0	7,336
総計									390,755		

※数値は横計の% (参考を除く。)

(出典)

「要介護認定等に係る認定調査結果等の報告のとりまとめについて」(平成14年1月7日付け
 都道府県介護保険主管課長(室)長宛て厚生労働省老人保健課事務連絡)